

復職への第一歩を踏み出すあなたへ

段階	内容
 現在	不安と向き合い、自分の状態を理解する
 準備	復職に必要な知識とスキルを習得する
 支援	専門家のサポートと制度を活用する
 ゴール	自分らしく安心して復職を実現する

 復職への不安、解消しませんか？

 この動画で得られること

 あなたは一人ではありません

復職可否の判断と関係者の役割

関係者	主な役割	復職判断への関わり
本人	自身の状態を正確に伝える 復職への意欲を示す	体調や復帰への準備状況を客観的に伝え、 必要なサポートを明確に表明する
産業医	医学的見地からの判断 就業上の配慮に関する意見	症状や通院状況の確認、復職可能な業務内容や 必要な就業上の配慮事項を判断する
上司	業務内容の調整 職場環境の整備	受入体制の確認、業務負荷の調整、 継続的なサポート体制を整える



復職判断票の項目と基準

具体的な評価項目と目安が設定されており、客観的な判断基準となる



産業医の役割

医学的見地からの判断、就業上の配慮に関する意見提供



本人の役割

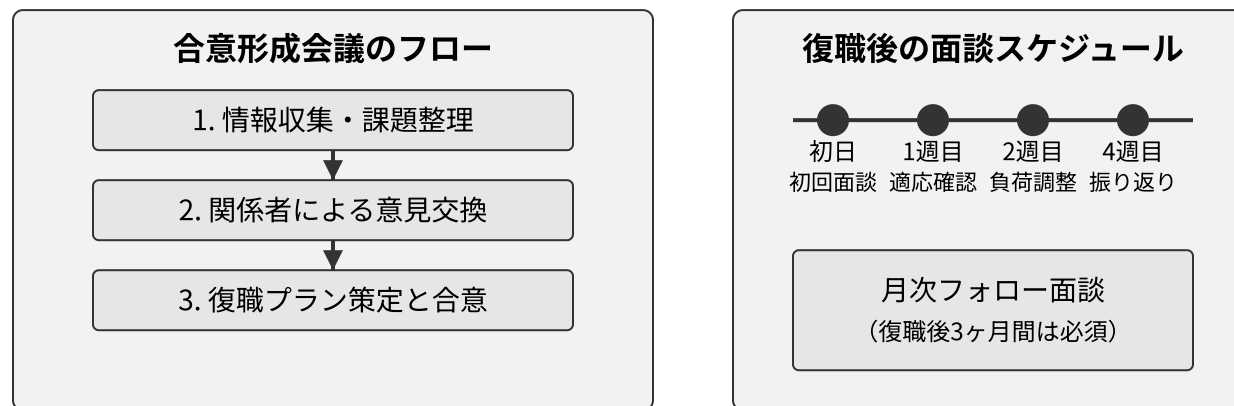
自身の状態を正確に伝える、復職への意欲と準備状況を示す



上司の役割

業務内容の調整、職場環境の整備、継続的なサポート

スムーズな復職のための合意形成と継続フォロー



合意形成会議の進め方

議題設定、情報共有、意思決定のプロセスを明確化し、全関係者の理解と協力を得る



面談頻度とチェックリスト

定期面談の活用、自己チェック項目を設定し、体調と業務状況を継続的に確認



復職直後4週間の要点

負荷軽減、相談しやすい環境づくり、定期的な振り返りで無理のない復帰を実現



時短勤務・配置転換案

具体的な活用事例、更新プランの考え方を整理し、柔軟な働き方を実現

安心して働くための情報共有とプライバシー保護

情報共有の流れ

情報提供者	情報の種類	情報の受け手
休職者（本人）	医療情報 （診断書・治療状況）	産業医
	業務情報 （復職希望・配慮事項）	人事部門・上司

個人情報保護の原則

保護原則	具体的な実践方法
同意の取得	個人情報同意書の作成・取得・保管
目的の限定	収集した情報は明示された目的以外には使用しない
最小限の共有	必要な情報のみを必要な関係者に限定して共有



産業医・人事への情報共有

必要な健康情報と業務適応の判断に必要な情報のみを共有。適切なタイミングと伝達経路の確保が重要



個人情報同意書の範囲

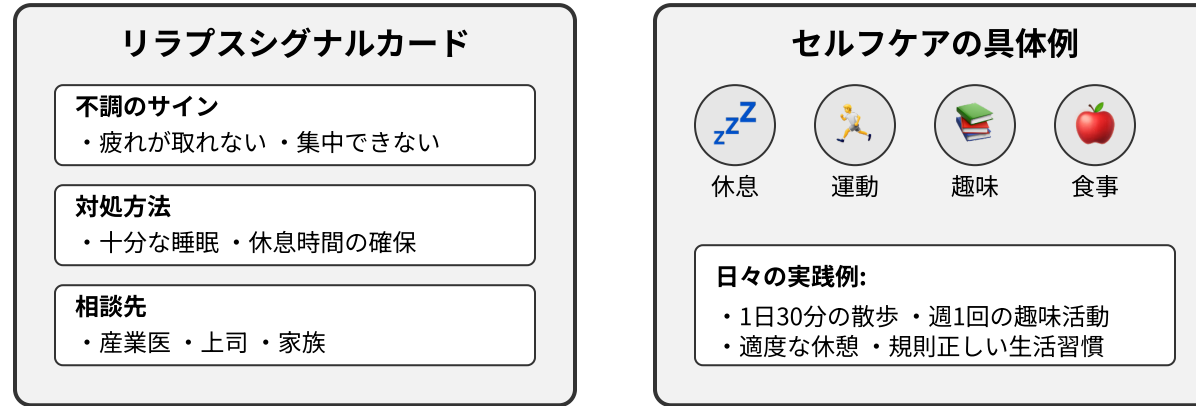
情報共有の範囲と目的を明確にした同意取得が必須。同意の撤回権利の保障も重要



目的限定原則と保管

収集した情報は明示された目的以外には使用せず、厳重に管理。保存期間の設定と適切な廃棄も必要

再発を防ぐためのセルフケアと早期サイン



リラプスシグナルカード作成

自身の不調サインや症状の変化に気づき、対処法を明確に書き出して日常的に参照できるようにする



再発早期サイン抽出

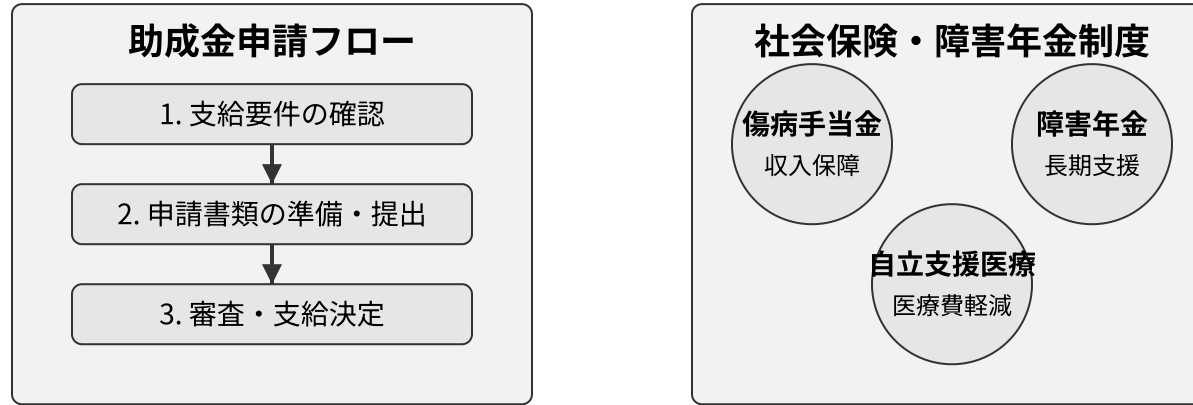
身体的（睡眠障害、食欲変化）、精神的（イライラ、集中力低下）、行動の変化（遅刻、ミスの増加）に注意を向ける



セルフケアの実践

十分な休息、適度な運動、趣味の時間確保、バランスの良い食事など、自分に合った方法を日常に取り入れる

復職をサポートする助成金と制度



両立支援等助成金の要件

対象者：治療と仕事の両立支援に取り組む事業主
支給額：制度導入で最大60万円
期間：復職から6ヶ月以上の雇用継続



申請書類と期限

必要書類：助成金支給申請書、復職
証明書類、制度導入証明
提出先：管轄労働局
期限：復職後6ヶ月経過後2ヶ月以内



社会保険/障害年金概要

傷病手当金：標準報酬日額の2/3を最長1年6ヶ月
障害年金：障害等級に応じた年金支給
自立支援医療：医療費の自己負担軽減

復職に向けて、着実に



本日の学びの振り返り



復職は準備が大切



一人で抱え込まず、支援を活用しよう



あなたの新しいスタートを応援します！

「復職は終わりではなく、新たな始まりです」